

山梨県立美術館2025年度カレンダー

特別展開催期間

- : 皇室の美と山梨 ～皇居三の丸尚蔵館の名品～
- : ポップ・アート 時代を変えた4人
- : 生誕100年 山下清展－百年目の大回想
- : 日本画 それぞれの挑戦(仮称)

：休館日

2025年4月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

2025年5月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

2025年6月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

2025年7月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

2025年8月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

2025年9月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

2025年10月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

2025年11月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

2025年12月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

2026年1月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

2026年2月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28

2026年3月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

2025年度特別展のご案内

皇室の美と山梨

～皇居三の丸尚蔵館の名品～

4月26日(土)～6月1日(日)

皇居三の丸尚蔵館は、皇室に代々受け継がれた絵画・書跡・工芸品などの美術品を保存・調査研究・展示をしています。本展では、皇居三の丸尚蔵館が収蔵する作品のなかから、皇室の御慶事に際して制作された絵画や工芸品をはじめ、野口小籟、富岡鉄斎ら山梨ゆかりの画家の絵画、水晶貴石細工や硯といった県産の工芸品、富士山を主題とした美術品など、山梨に関係する様々なテーマで皇室の名品を紹介します。さらには、それらに関連した当館の収蔵品もあわせて展示することで、皇室と山梨をめぐる美術を鑑賞する新たな機会となります。



野口小籟《大正度 悠紀地方風俗歌屏風》(右隻)
1915(大正4)年 皇居三の丸尚蔵館収蔵

生誕 100 年 山下清展－百年目の大回想

9月20日(土)～11月24日(月・振休)

生誕100年を記念し、放浪の天才画家、山下清の画業と人生を紹介します。驚異的な記憶力と集中力を併せもつ山下は、旅先で見た風景を細部まで正確に思い出すことができました。山下はその風景を手で細かくくぎった無数の色紙を緻密に貼り合わせることで表現しました。

本展は、圧倒的な手わざによる描写と、豊かな色調を特徴とする山下芸術の素晴らしさを余すところなく伝えようとする展覧会です。出品作品は、貼絵に加えて、水彩画、ペン画、陶磁器など約190点。あわせて、リュックや浴衣などの関連資料も展示し、その人物像にも迫ります。



《長岡の花火》1950(昭和25)年 貼絵
山下清作品管理事務所蔵
© Kiyoshi Yamashita / STEPeast 2024

ポップ・アート 時代を変えた4人

7月12日(土)～8月24日(日)

「ポップ・アート」とは大量生産された商品、広告や著名人のポートレートなどをモチーフに、現代生活や大衆文化をテーマとした芸術動向です。1960年代を中心に発展した同動向は、前世代の抽象表現主義への直接的なアンチテーゼだったばかりでなく、その後の芸術の方向性を大きく変えたものもありました。本展では本邦初公開のホセリス・ルペレス氏のコレクションからアメリカのポップ・アートを代表する4人のアーティスト、即ちジャスパー・ジョーンズ、ロバート・ラウシェンバーグ、ロイ・リキテンスタイン、アンディ・ウォーホルの作品を展示し、ポップ・アートを概観します。



アンディ・ウォーホル《マリリン》1970年 Joseluis Rupérez Collection
© 2024 The Andy Warhol Foundation for the Visual Arts, Inc. /
Licensed by ARS, New York & JASPAR, Tokyo G3667

日本画 それぞれの挑戦(仮称)

12月6日(土)～2026年2月1日(日)

「日本画」は近代の新語で、江戸時代以前の伝統的絵画とも西洋から入ってきた油彩画とも違う、新しい日本の絵画を表す役割を担ってきました。しかしながら「日本画」を定義づける要素は画材、技法、表現、モチーフなど多様で曖昧、不明瞭。「日本画家」たちは各々「日本画とは？」を自問し、伝統と革新の間で「独自の日本画」の表現を模索してきました。本展では「日本画滅亡論」が唱えられた戦後期を経験した画家を中心に、近代以降の日本画家の葛藤と挑戦の軌跡を探ります。



のむら清六《ハハコ像》1966(昭和41)年 紙本着色
山梨県立美術館蔵

アクセス

○中央自動車道甲府昭和インターチェンジより

- ・料金所を昇仙峡・諏訪方面へ出て200m先を左折、西条北交差点を左折、アルプス通りを約2km直進、貫川交番前交差点を左折、国道52号を約1km直進、左側

○JR中央本線甲府駅より

- ・JR甲府駅バスターミナル(南口)1番乗り場より、39系統 御勅使、03-04系統 竜王駅経由由敷島営業所、35系統 大草経由由碓氷駅、30系統 貫川団地各往きのバスで約15分、「山梨県立美術館」下車
※山梨県立美術館ホームページからも、バスの時刻表をご覧ください。
- ・タクシーで約15分

ホームページ



種をまく 世界がひろく

山梨県立美術館
Yamanashi Prefectural Museum of Art

〒400-0065 甲府市貫川1-4-27
Tel:055-228-3322 Fax:055-228-3324
<https://www.art-museum.pref.yamanashi.jp/>

